

目で見るセンターと会員の活動

- 技 術 士 交 流
- 目で見る海外報告
- 目で見る災害の記録
- おめでとうシリーズ



技術士交流



第21回技術士全国大会（大阪）で次回の第22回開催地（札幌）のPRをする佐々木支部長ほか実行委員メンバー [75号 1995.2]



日韓技術士会議が1994.9.29日に札幌で開催された。佐々木支部長による開会のあいさつ [75号 1995.2]



第22回技術士全国大会（札幌）
「くらしと情報化社会」会場にて、OA機器を使用してのデモの様子。
[77号 1995.10]



22回技術士全国大会 記念講演
「北からのメッセージ」と題して、作曲家・森田公一氏による弾き語り講演の様子。[77号 1995.10]



大会終了後の懇親会の様子。（森田公一氏を囲んで、思い出の一枚をバチリ）
[77号 1995.10]



第29回日韓技術士会議（韓国・釜山）
日韓婦人の交流 [99号 2000.2]



30周年記念 [79号 1996.6]



式辞
設立30周年記念大会委員長
佐々木敏雄 技術士（応用理学）



記念講演：「技術屋の精神」
北海道開発局建設部長
新山 惇 技術士（建設）



コーディネーター
大橋 猛
技術士（建設）

P A N E L D I S C U S S I O N



パネリスト
飯野 将徳
技術士（水道）



パネリスト
武智 弘明
技術士（水道）



パネルディスカッションの様子



パネリスト
住友 寛
技術士（農業）



パネリスト
加治屋安彦
技術士（建設）



パネリスト
金田 安弘
技術士（応理）



開会のことは：設立30周年記念大会実行委員長
館谷 清 技術士（建設）



デキシージャズバンド入場

●●● 青技協10周年 [86号 1998.11]



現役の提言：加木屋安彦技術士



現役の提言：酒本 宏技術士



討論会風景



OBの提言：柴田 登技術士



OBの提言：斉藤 和夫技術士

●●● 北東3支部 [92号 2000.10]



青木北海道支部長挨拶



吉川東北支部長挨拶



中山北陸支部長挨拶

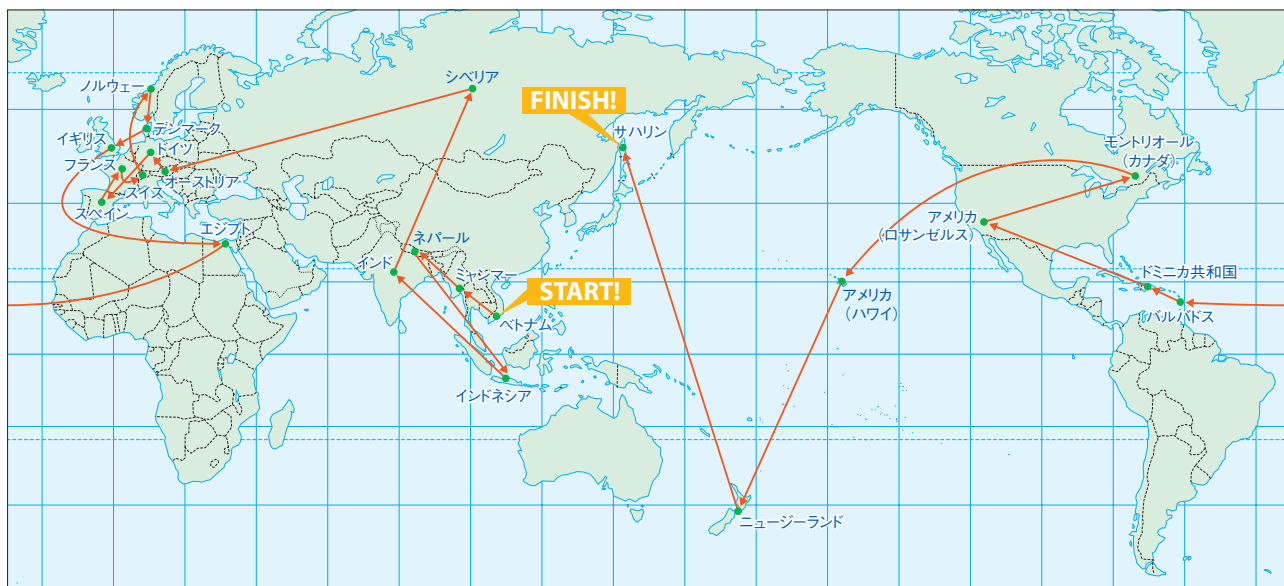


川北 稔技術士（建設）研修発表



伊藤副会長祝盃

目で見る海外報告



ベトナム



老若男女・移動手段の75%はバイク
[97号 2002.6]

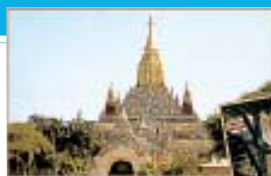


チャイナタウンの中心にある寺院。線香に異国情緒があらわれる。
[97号 2002.6]

ミャンマー



ヤンゴン市内の建築工事現場。足組みは竹製、竹がたわんで少し怖い。柱、梁の寸法は小さく、大丈夫だろうか？ コンクリートは現場打ち。
[87号 1992.2]



①



②



③

① バガンのアナンダパゴダ。数多くのパゴダの中で最も美しい。アナンは釈迦の従兄弟。
② ヤンゴンのチャウツタツチーパゴダ。長い睫をつけて、妙に色っぽい寝釈迦仏。我々は裸足で見学する。
③ バガンのパゴダ群。レンガ造で金箔をはがれている。遠く見える川はイラワジ川。11世紀から13世紀の築造。
[87号 1992.2]

●●● ネパール



アンナプルナ山群を背景にボカラの貯水池。
表流水を水源とする灌漑計画が進行している。[67号 1992.6]



山の中の吊り床板歩道橋。段差を取る為の石造りの橋台が緑の段々畑の景色と調和している。段々畑を維持する為の水路の技術には驚かされる。[70号 1993.6]

●●● インドネシア



円借款によるダム工事現場（インドネシア）[84号 1998.2]

●●● インド



手掘り井戸の開発（インド）[84号 1998.2]

●●● シベリア



キャタピラーで破壊されたツンドラ（西シベリア・ヤマル半島）[72号 1994.2]



融解で陥没しそこに水が溜って湖沼となった（アラス、ヤクーツク周辺）

[72号 1994.2]

● ● ● オーストリア



オーストリアの都市ザルツブルクの市街地
街の中心部をドナウの支流ザルツァツハカ流れる [92号 2000.10]



ザルツァツハ河畔
マロニエの並木が川面を縁取っている
後方はモーツアルトの生家などがある旧市街
[92号 2000.10]

● ● ● ドイツ



リーデン村の農地整備。
農村リゾート地として、村内にはかなりの密度でサイ
クリング道路が配置され、アルプス湖を訪れた人々に開
放される。写真は村の入口にあるウェルカム・ゲート。
[67号 1992.6]

● ● ● スペイン



スペインのセゴビア
にあるローマ時代の
モニュメント石造り
水道橋。
全長728m、高さ
28m。アーチの数は
167を数える。
10数年前まで、セ
ゴビア市民に水を提
供していたという。
御影石だけを組み合
せて、2000年も崩
壊することないロー
マ人の英知を物語る
ものである。
[69号 1993.6]

● ● ● フランス



グレーアルトワーズ（石屋根・建物）[83号 1997.10]

● ● ● スイス

スイスのルーツェルンにあるカベル橋は、1933年に造られたヨーロッパ最古の屋根付き橋である。全長200m、1599年以来、歩廊にはルーツェルンの守護聖人や歴史絵巻が12枚飾られている。
[69号 1993.2]



● ● ● ノルウェー



氷河、氷河、氷河のスピッツベルゲン島
[68号 1992.10]

● ● ● デンマーク



ウインドファーム 年間発電量 2300万Kwh [95号 2001.10]

● ● ● イギリス



グリーンツーリズム
自然と農村の景観が共存して造り出す湖水地方の国立公園。
[73号 1994.6]



タワーブリッジ。
ロンドンのテムズ川の最下流に位置する。全長270m、中央に50mのタワーを持ち、中央部分の重量は1,100トンである。中央は、跳ね上げる可動橋である。
[69号 1993.2]

●●● エジプト



定番 ギザのピラミッドとラクダ [94号 2001.6]

ナイルメーター
いにしえの時代にはこれでナイル川の水位を測定し
その年の税額を決めた [94号 2001.6]

●●● バルバドス



東海岸 常に貿易風が当たり波は荒いかものすごく美しい [98号 2002.10]

同僚とピクニック
年齢不詳の人たち [98号 2002.10]

●●● ドミニカ



生活用水としても利用されるかんがい用水（ドミニカ）[84号 1998.2]

●●● アメリカ



サンフランシスコ市庁舎の前で
記念写真、壮重なドーム建造物
に耐震補強工事が施されている
[81号 1997.2]



ラスベガス盆地東縁のフレンチマウンテンで活構造のフィールドトリップ
先カンブリア紀から古世代にかけての変成岩がダイナミックに露岩する
[81号 1997.2]



米国西海岸研修旅行団の一行24名
(Caltransのロサンゼルスの高架橋
工事現場にて、背景はロサンゼルス
のダウンタウン) [81号 1997.2]

●●● モントリオール（カナダ）



モントリオール市における路面排雪。
年間降雪量が少ない（約200cmで札幌
市の半分以下）こともあるが、徹底的に
行われる。[67号 1992.6]

●●● ハワイ



水施設設計コンサルタント
マカイ・オーシャン・エンジニアリングの社屋 [90号 2000.2]



深層水飼育池 [90号 2000.2]

●●● ニュージーランド



北島ティアラウ近郊の羊の放牧
NZでは最も一般的な田園風景
肉毛兼用の羊がウヨウヨしている [97号 2002.6]



ミルフォードサウンドのフィヨルドクルージング
眼前に広がるは比高600mもの断崖絶壁
船上では暴風と風雨に注意 [97号 2002.6]

●●● サハリン



視察団一行
(ユジノサハリンスク：サヒンセンター前にて) [96号 2002.1]



ホルムスク港の防波堤 戦前、日本が建設した防波堤をそのまま利用している 右上は係船柱 [96号 2002.1]



[96号 2002.1]



[96号 2002.1]

目で見る災害の記録



釧路沖 1993年1月15日 [70号 1993.6]



釧路町木場、桂木のマンホールの浮上がり
最大1.50mの浮上がりが生じた。



西港第3埠頭、-12m岸壁
岸壁背後地盤の亀裂と噴砂跡
岸壁寄りの区域は液状対策が適用されている。



国道44号、厚岸町糸魚沢
片切片盛した地点の崩壊で崩壊延長は約
70m盛土された地盤は泥炭地盤である。



緑が岡6丁目の斜面崩壊
火山灰質土からなる斜面が幅70m、長さ
20m、高さ11mにわたって崩壊した。



●●● 南西沖 1993年7月12日



津波と火災にあった奥尻町青苗地区



一般国道229号岩内町雷電刃掛トンネルの岩石崩壊
覆道およびトンネル巻出部の損傷は軽微であったものの、崖頭部には巨大岩体（1個約2,500m³）が落ちかけた状態で不安定な状態となっている。（A～D塔状岩体、①、②崩落岩体）

北海道開発局
道路管理技術委員会
北海道道路管理技術センター } 提供



大規模な斜面崩壊（奥尻港背後斜面）



一般国道5号長万部町豊津路面の変状（共同通信社撮影）
標高5m前後の黒松内低地帯に位置し、ルーズな細砂層が液状化を発生し、路面陥没による波状変化をもたらした。道路延長12kmのうち2kmにわたって発生している。



鉄道盛土の崩壊と軌道の変形（JR函館本線長万部町知来―蕨岱間）

●●● 阪神・淡路大震災 1995年1月17日



ピルツ橋脚のセン断破壊か？



阪神高速3号神戸線
右径間の落橋、そしてバス危機一髪



阪神高速5号湾岸線
西宮港大橋アプローチ橋の落橋



神戸市三宮地区
4階建ビルの崩壊

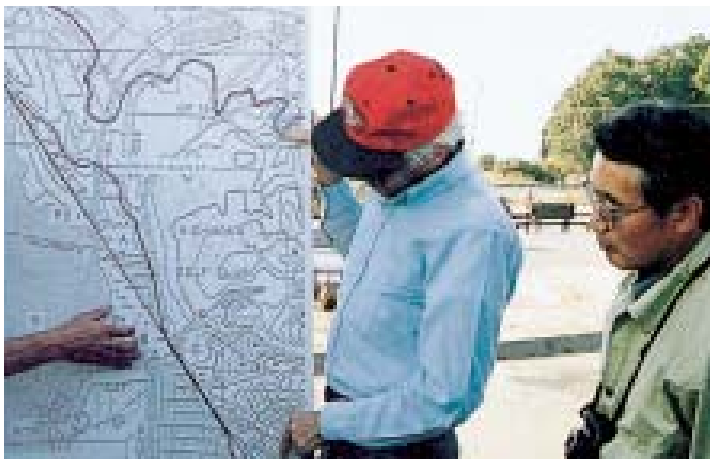


ポートアイランド岸壁の被害



液状化による埋立地の被害

●●● アメリカ西海岸 1994年1月17日



サンフランシスコ湾のピノール岬。
Dr.Borchardtのガイドでハイワード
断層をフィールドトリップする。



米国西海岸沿いの地震活動履歴を示した図。
地震の巣がはっきり読み取れる。



サンフランシスコ市庁舎で設置中の免震支承。590個のゴム支承を
使い、M8.3の地震にも耐える構造が完成する。



サンフランシスコ市内の古いフリーウェイの耐震補強工事。鋼板で
柱を補強し、さらに基部はリブでフーチングに固定する。



柱の補強により不足する基礎の体力を補うため、増し杭とフーチン
グの拡大を行っている。



カリフォルニア大学バークレイ校の地震工学研究センターで見かけ
た、実験後の鉄筋コンクリート柱。帯鉄筋による拘束効果の実験で
あろう。



有珠 2000年3月31日



上空からみた有珠山(西山西側)噴火(平成12年3月31日撮影)



地上からみた有珠山（西山西側）噴火
(平成12年3月31日撮影)



金比羅山火口からの噴火（平成12年4月7日撮影）



火山灰で覆われた一般国道230号（平成12年3月31日撮影）



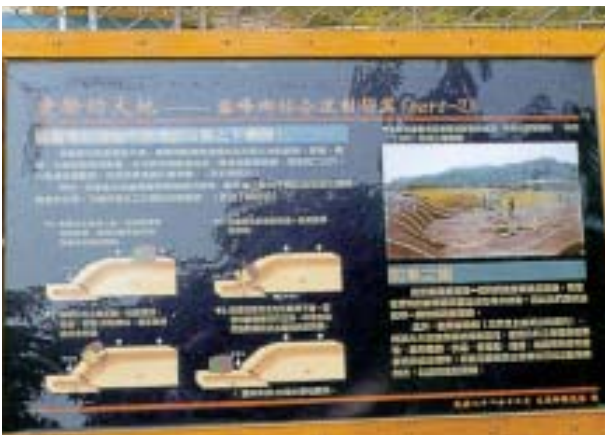
西山山麓にできた亀裂（平成12年4月7日撮影）



台湾 1999年9月21日



台中県豊原市、石岡ダム破壊状況。
シャローンブー（車籠埔）断層末端部の変位。
右岸河床部が相対的に約8m沈下し、ダムが被害を受けた。
訪問時には盛んに補修工が行われていた。



台中県霧峰郷陸上競技場の案内板。
低角度の逆断層が説明されている（台湾大学・地質系）。



台中県霧峰郷光復国民小学校に隣接する陸上競技場、震央の北北西約25km。
断層は競技場を斜めに横切り、トラック面に数mの段差を発生させた。
フェンス背後のトラックでは少年野球チームが練習を行っていた。



南投県草屯、九分二山付近。
大規模崩落現場の遠景。

おめでとうシリーズ



平成9年 秋の叙勲で佐々木顧問が勲杯を受ける



館谷 清技術士 平成10年度会長表彰を受賞



能登 繁幸技術士 平成11年度科学技術庁長官賞を受賞



日本技術士会北海道支部長 青木 弘 技術士
平成13年度文部科学大臣賞を受賞

日本技術士会 会長表彰



岡本 成之 (水道部門)



栗林 益美 (機械部門)



阿部 任 (機械部門)



川村 政良 (建設部門)



小野 中 (建設部門)



小野 潤一 (農業部門)



武藤 征一 (水道部門)



内田 辰英 (情報工学部門)